

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和6年12月26日

施設名	坂本龍馬記念館	所管課	文化生活部歴史文化財課
-----	---------	-----	-------------

1 施設の概要

指定管理者名	(公財)高知県文化財団	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設所在地	高知市浦戸城山830番地		
事業内容	坂本龍馬を顕彰する施設として、坂本龍馬に関する資料の収集、保管、及び展示を行う。		
施設内容	<建物>延べ床面積:3968.86㎡ 新館 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階地下1階 本館 鉄筋コンクリート造一部鉄骨 地上2階地下2階 <主要施設>常設展示室、企画展示室、図書・ビデオコーナー、ミュージアムショップ、談話室など <開館時間>午前9時～午後5時 <休館日> 年中無休 <主な料金> 企画展開催期間 700円 それ以外の期間 500円 ※高校生以下、高知県長寿手帳(65歳以上)、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳を所持する者と介護又は介助者1名、高知市長寿手帳を所持する者は無料 施設利用料 ホール9,900円(午前)16,500円(午後)、企画展示室20,790円(1日)		
職員体制	常勤職員: 6人 契約職員: 14人 合計: 20人		

※ 職員数は令和5年4月1日現在

2 収支の状況

単位:千円

		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
収入	県支出金	162,192	180,097	196,723
	事業収入	50,787	56,129	68,561
	その他	7,131	6,045	5,000
	収入計	220,110	242,271	270,284
支出	事業費	220,110	242,271	270,284
	(うち人件費)	(81,939)	(93,649)	(96,822)
	その他			
	支出計	220,110	242,271	270,284
収支差額 (a)－(b)		0	0	0

3 利用状況

	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	前年度比
	103,901 人	114,269 人	10,368 人
① 年間利用者数 合計 (単位:人)	<利用実績> ・コロナ禍の影響により、令和2年度、3年度の来館者数は10万人を大きく下回っていたが、4年度は10万人を超え、さらに令和5年度は対前年度比110%の11.4万人台となっている。(目標人数:160,000人、達成率:約71%)。		

② 利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) ・ 時期:年間 ・ 方法:アンケート用紙への来館者による記入 ・ 回答数:1,210人 ・ 調査結果等:企画展の評価(良い80% 普通13% 良くない2% 無回答5%) 来館者の各種の感想、意見等
	○ 利用者意見等を踏まえた対策 ・ 順路が分かりにくいといったご意見に対し、館内のルート案内の表示を追加した。 ・ インバウンド対応として、外国語パンフレットの配布、ホームページの多言語化、本館2階の案内の英語表記などを進めており、今後もガイダンス動画への英語表記の追加といった取り組みを進める予定。
	○ その他
③ その他特記事項	

4 年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	・建物や設備の管理については、保守管理委託業者の現場駐在社員との連絡を密に行い、来館者の安全と展示室の適正な環境管理に努めている。 ・消防計画に沿った館内組織体制を職員に周知するとともに、関連のマニュアル等を常時、職員の見える位置に掲示している。また、地震等に備え必要備品の購入や更新を行うとともに、高知市と連携し、避難所としての物資の備蓄も行っており、避難訓練も実施している。 ・コロナの5類移行により、コロナ対応は来館者の個々の判断に任せることとし、清掃時における手摺等の消毒は引き続き実施している。
②利用者サービスの維持向上	・昨年度に引き続き、記述式のアンケートを実施し、アンケート結果に基づき子どもから大人までを対象としたイベント等を実施するなど、業務改善の取り組みに努めている。 ・インバウンド対応として外国語パンフレットの配布を再開し、HPの多言語解説ページの追加や本館2階の案内の英語表記などの取り組みを進めている。 ・来館者の接遇については、適時、職員間で検討会を行いながら改善に努めている。 ・職員研修について、学芸員の専門研修や視察研修のほか、その他の職員にも会計・著作権・広報・バリアフリーなどの業務に必要な専門研修を受講させている。
③利用実績	・コロナ禍の影響により、令和2年度、3年度の来館者数は10万人を大きく下回っていたが、4年度は10万人を超え、さらに令和5年度は対前年度比110%の11.4万人台となっている。(目標人数:160,000人、達成率:約71%)。 ・教育普及事業として、来館校数、人数は46校、1,915人で、出前授業の参加者数は559人であった。
④収支の状況	・経費節減を行うとともに、費用対効果を考慮した広報や展示活動により集客の回復を図る等、収支均衡の運営に努めた。
総合評価	A ・企画展示事業のうち、特別展「花と歴史の爛漫土佐」展(2部構成)では、5年連続となる国指定の重要文化財を含む展示を行い、公開承認施設認定に向けての実績を収めた。また、各企画展について、テーマや県内外の関係機関とのネットワークを生かした有意義な展示、小冊子や図録の発行、担当学芸員の展示解説や記念講演会の実施等、来館者の満足度の向上を図るため積極的に取り組んでいる。 ・坂本龍馬の書簡の収蔵点数は、真物14点・複製59点の合計73点となり、調査研究にも努めている。 ・各企画展ごとの記念講演会(全5回)及び連続講演会(全5回)やWEBによる事後配信サービスの実施、小学生を対象とした出前授業や校外学習での解説の実施など大人から子どもまで幅広く龍馬の生涯や幕末の歴史を学べる機会の創出に積極的に取り組むなど、利用者サービスの向上に努めた。 ・広報について、地上波のキー局のほか、関西・中四国圏を中心に県内外の新聞・TV等のメディアを活用した取材の受け入れを含む情報発信を展開するなど集客力向上に努めている。

- 【評価の目安】
- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの